

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年8月8日(2022.8.8)

【公開番号】特開2022-1340(P2022-1340A)

【公開日】令和4年1月6日(2022.1.6)

【年通号数】公開公報(特許)2022-002

【出願番号】特願2021-170338(P2021-170338)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月28日(2022.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の発光手段が設けられた可動手段及び前記可動手段を動かす駆動手段を有する可動演出手段と、

遊技進行に応じて前記可動演出手段を制御することにより遊技演出を行う演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記可動手段を動かすために前記駆動手段の駆動制御を行う駆動制御手段と、

前記可動手段に設けられた前記発光手段の発光制御を行う発光制御手段とを有し、

前記可動演出手段は、前記駆動制御手段によって前記駆動手段が作動状態へ切り替えられることによって所定状態となるように構成され、

複数の前記発光手段の態様として、第1態様と、前記第1態様とは異なる第2態様とを有し、

前記発光制御手段は、前記可動演出手段が前記所定状態へ切り替わる前の少なくとも一部の状態で複数の前記発光手段が前記第1態様とされ、前記所定状態で複数の前記発光手段が前記第2態様とされることを可能とする手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記可動演出手段が前記所定状態であり、複数の前記発光手段が前記第2態様とされた状況で、所定絵柄が視認可能な第1状態となっており、

前記発光制御手段は、前記可動演出手段が前記所定状態より前の特定状態であり、前記所定絵柄が視認不能又は前記第1状態より視認しにくい第2状態である場合に、複数の前記発光手段が前記第1態様とされることを可能とする手段を備えていることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機やスロットマシン等の遊技機には、遊技機前方から視認可能となる部位に配

50

され、遊技の進行に伴って態様が変化する発光部が設けられているものがある。これら発光部には、遊技進行等に応じて態様を様々に変化させることで遊技中の演出効果を高める機能が付与されている（例えば特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上記例示した遊技機等においては、発光部を用いた演出効果を発揮させる上で当該演出に係る構成に未だ改善の余地がある。 10

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

複数の発光手段が設けられた可動手段及び前記可動手段を動かす駆動手段を有する可動演出手段と、 20

遊技進行に応じて前記可動演出手段を制御することにより遊技演出を行う演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記可動手段を動かすために前記駆動手段の駆動制御を行う駆動制御手段と、

前記可動手段に設けられた前記発光手段の発光制御を行う発光制御手段とを有し、

前記可動演出手段は、前記駆動制御手段によって前記駆動手段が作動状態へ切り替えられることによって所定状態となるように構成され、

複数の前記発光手段の態様として、第1態様と、前記第1態様とは異なる第2態様とを有し、

前記発光制御手段は、前記可動演出手段が前記所定状態へ切り替わる前の少なくとも一部の状態で複数の前記発光手段が前記第1態様とされ、前記所定状態で複数の前記発光手段が前記第2態様とされることを可能とする手段を備えていることを特徴とする。 30

30

40

50